

銀行名	百十四銀行
タイトル	農林漁業成長産業化ファンドを活用した6次産業化支援
取組み内容	【経緯】 ・事業多角化の一環としてアグリビジネスでの新規事業を模索していた重電機器製造業者S社は、同地域でオリーブ果実を生産する農業法人T社と連携して、オリーブビジネス事業化の可能性調査を開始。 ・調査開始後、S社がT社より買取したオリーブ果実を加工業者へ持ち込み、オリーブ製品への加工を委託すると同時に、現場研修を受けて加工技術を習得。 ・オリーブ果実の自社生産量の増加に伴い、加工委託先の製造処理能力を超える懸念が出てきたことから、安定製造とクオリティ維持を図るため、自社加工場の建設ニーズが発生。 ・当行ネットワークにより、上記動向に関する情報をキャッチし、同地域内にある2社によるオリーブの6次産業化事業を立ち上げるため、6次産業化ファンド「百十四6次化サポートファンド」活用を提案。 【取組内容】 ・上記経緯から、オリーブ製品の製造内製化を進めるため、両社の共同出資によりオリーブ果実を加工販売する6次産業化事業体A社の設立を決定。 ・本件事業開始にあたり、当行が全面的にサポートして、事業収支シミュレーション、6次産業化認定に関する事業計画等を作成。併せて、関係機関ヒアリング等を実施し、業界動向調査やリスク分析を行い、本件事業の実現可能性等についてアドバイスを実施。 ・結果、6次産業化の認定取得により、同ファンドからの出資が決定。出資後は、定期的なモニタリングによる情報交換や新たな販路紹介など、事業基盤の早期確立に向けてアドバイスを実施。 【効果】 ・6次産業化支援を通じて、県内農業の活性化を図るとともに、県産オリーブの付加価値を向上させ、香川県が推進するオリーブ産業振興に寄与。 ・オリーブ生産拡大により、生産者の高齢化や後継者不在により年々増加している耕作放棄地の解消も期待できる。 ・新規事業の立ち上げサポートにより、地元の雇用創出にも貢献。

銀行名	百十四銀行
タイトル	A B Lを活用した経営改善・資金繰り支援
取組み内容	【動機（経緯）】 ・医療法人A会は、地域を代表する総合病院。 ・近年、近隣総合病院からの入院患者受入数が減少傾向にあり赤字体質に陥っていたものの、役員からの借入金等による対応に終始し、抜本的な経営改善を先送りしている状態にあった。 ・徐々にキャッシュフローの赤字幅が拡大する中、それまでの急場しのぎの対応では耐えられず、資金繰りが逼迫。当行は地元メイン行として資金繰り支援が必要な状況となった。 【取組み内容】 ・新規での資金対応には、早期にキャッシュフロー赤字の状態に歯止めをかける必要があり、当行医療チームが医療コンサル会社と連携し、経営改善計画の策定に着手した。しかしながら、経営改善計画を策定の上、融資判断をするには相応の時間を要することが必至であり、たちまちの支援策としてリスク対応についても行内で協議を進めた。 ・一方で、資金繰りを精査した結果、当面の資金不足は、毎月10日の諸払いから20日の診療報酬受取りまでの間に発生する短期的なものであることを確認。また、不動産等の担保余力は乏しいものの、回収確実性の高い診療報酬債権が担保提供されていない点に着目。 ・当行としては、現時点でのリスクによりその後の資金対応の方向性を限定させてしまうより、当初約定に基づく弁済履行を行いつつ、経営改善計画策定進捗状況、資金繰り状況等に応じて、最善の資金対応を選択する可能性を残しておくことが得策と判断。最終的に、A B Lを活用し、診療報酬債権の担保取得により保全を図りつつ、新規で当貸枠を開設することで資金対応を行った。 【成果（効果）】 ・A会としては、経営改善計画策定前における、通常では資金調達が困難な状況の中、A B Lによる機動的な資金調達枠を確保。当面の資金繰りが安定化し、経営改善計画の策定に注力できる体制となった。 ・当行としても、本件A B Lは保有する診療報酬債権残高に応じた借入可能限度額を設定することで与信リスクをコントロールする仕立てとしており、保全を図りつつ、地元メイン行としてA会の資金繰り支援を実現。また、A B L導入に伴い、毎月の診療報酬債権金額をモニタリングする過程で、当行の積極的な経営への関与に繋がり、A会とのリレーション向上に寄与している。 ・その他、A B L検討過程において、国保・社保宛の診療報酬請求（レセプト請求）の管理体制に改善の余地があることが判明。その後、医療コンサル会社による「レセプト診断」を導入し、診療報酬請求体系の見直しや従業員向けの勉強会を実施した。結果として、診療報酬の請求漏れが減少し、A B Lでモニタリングしている診療報酬債権金額は「レセプト診断」導入前に比し増加。経営改善に一部効果を発揮している。

銀行名	百十四銀行
タイトル	インドネシア向けクロスボーダーローン実行
取組み内容	【動機（経緯）】 ・取引先（スポーツ用帽子・胴着製造販売業）は、インドネシアに現地法人を保有。同現地法人は、グループ製造拠点として親会社向けに製品を供給するとともに、インドネシアを中心に ASEAN 各国向けに製品を販売。 ・昨今の現地での受注増加から、長期運転資金のニーズが発生していた。 【取り組み内容】 ・当社グループとしては、親会社に事務負担等のない形での資金調達を希望。当初、地場銀行での調達を検討するが、調達コストの高さから、別の調達手段を模索していた。 ・当社ニーズへのソリューションとして、国内営業店がクロスボーダーローンによる資金調達（円建て）を提案した。 ・国内同様の金利水準が可能であること、実行後の手続が、当行一現地法人間で完結し、親会社に負担がないことから、当社ニーズにも合致し、実行となった。 【成果】 ・現地法人における調達方法の多様化。 ・親会社の保証差入によりインドネシアでの資金調達が親会社と同じ金利水準で可能となった。 《スキーム図》 <pre> graph TD A[日本：親会社] -- 保証差入 --> B[百十四銀行] B -- 円建て融資 --> C[インドネシア：子会社] C -- 約定返済 金利支払 --> B </pre>

銀行名	百十四銀行
タイトル	金融教育活動
取組み内容	【動機（経緯）】 将来を担う子どもたちにとって、お金の流れや経済の仕組みを学ぶことは重要であると考え、小・中・高・大学生の段階に応じて金融知力を身につけることができる機会を提供するために様々な金融教育活動を行っている。 【取組み内容・効果】 ①地元大学法学部特別講義 金融業界について理解を深めていただくため、行員が講師となり、銀行業務について法律との関係を交えながら講義を行っている。 就職する前の早い段階から金融業界についての知見を広げる機会として大学側から好評を得ており、金融志望の学生への有用な情報提供となっている。 ②エコノミクス甲子園 高校生を対象にした金融知力を身につけるクイズ大会を、平成20年より毎年開催している。クイズを通じて楽しみながら金融知力を身につける場として、また、金融に関する興味を持つ入口体験として役立っており、参加者からの評価も高い。 ③職場体験学習 各営業店が、地元の中学校などを主たる対象としてさまざまなカリキュラムを企画し、ロビーマネージャーの体験や銀行内の見学、ビジネスマナーについての講習会などを開催している。 銀行とはどのような仕事をする所か行員の話の聞いたり、実際に銀行内を見学することで、銀行の業務や役割、重要性についての理解が深まったという感想が多く聞かれている。また、生徒たちが将来の職業について考える機会としても役立っている。 ④親子体験教室 香川県金融広報委員会と連携し、小学生およびその保護者を対象に、銀行の基本的業務や紙幣の偽造防止技術についての話のほか、本店ビル内を見学したり、本物の1億円や1キロの金塊に触れる体験の機会を提供している。 参加した子どもたちや保護者から、銀行のお金を「預かる」「貸す」「送る」という仕事や金融について興味を持ったという感想が多く寄せられている。また、本物の1億円や金塊に触れる体験は参加した小学生だけでなく、保護者からも大変好評を得ており、銀行を身近に感じていただけるイベントとなっている。

銀行名	百十四銀行								
タイトル	環境保全活動								
取組み内容	【動機（経緯）】 地域金融機関として、社会的意義のある環境保全に積極的に取り組んでいる。 【取組み内容・効果】 ①フォレストマッチング協働の森づくり活動 創業130周年の記念行事、およびCSRの一環として、平成20年11月より香川県や高松市などとパートナー協定を結び、『百十四の森』づくり活動を開始。平成20年～平成24年は、香川県高松市塩江町にて植林活動を実施。のべ217名の行員とその家族で0.7haにコナラを1,400本植林した。 平成25年からは、香川県丸亀市綾歌町にて過去に植林された森林の除間伐、枝打ち作業を行っている。 行員の森林保全に対する理解が深まっていると同時に、若い行員も多く参加することで、社会貢献意識の高い行員の育成に役立っている。 ②地域の清掃活動に参加 毎年、高松市が主催している海岸沿いや空港、地元商店街などの清掃活動に、開催地近くの営業店行員や本部分行員が中心となって参加している。 香川県内県外の営業店においても、地元自治会等とともに水路掃除を行ったり、国立公園や寺院の清掃など、地域の環境美化に取り組んでいる。 継続的な活動により、行員の環境保全に対する意識の向上に繋がっている。 ③環境配慮型商品の取扱い 環境配慮に取り組む個人・企業を支援するために、専用商品のほか、環境に配慮した素材を使用した通帳を取扱うなど、本業を通じての環境保全に取り組んでいる。 【環境配慮型商品】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>商品名</th><th>商品概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境配慮型私募債 (愛称：百十四オリーブ債)</td><td>第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇</td></tr> <tr> <td>百十四環境サポート融資 (愛称：百十四グリーンファンド)</td><td>お客さまの環境への取組みを3段階で評価し、貸出金利に反映</td></tr> <tr> <td>百十四再生可能エネルギー事業支援融資 (愛称：百十四エネルギーサポート)</td><td>再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応</td></tr> </tbody> </table> 【紙クロス通帳の取扱い】 通帳の表紙素材にリサイクルが可能な紙クロスを使用しているほか、印刷にはベジタブルインキ（植物性インキ）を使用している。	商品名	商品概要	環境配慮型私募債 (愛称：百十四オリーブ債)	第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇	百十四環境サポート融資 (愛称：百十四グリーンファンド)	お客さまの環境への取組みを3段階で評価し、貸出金利に反映	百十四再生可能エネルギー事業支援融資 (愛称：百十四エネルギーサポート)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応
商品名	商品概要								
環境配慮型私募債 (愛称：百十四オリーブ債)	第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇								
百十四環境サポート融資 (愛称：百十四グリーンファンド)	お客さまの環境への取組みを3段階で評価し、貸出金利に反映								
百十四再生可能エネルギー事業支援融資 (愛称：百十四エネルギーサポート)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応								

銀行名	百十四銀行
タイトル	地域スポーツの振興
取組み内容	【動機（経緯）】 青少年の健全な育成と、スポーツを通じた地域活性化に貢献するべく、地域スポーツの振興に取り組んでいる。 【取組み内容・効果】 ①百十四銀行旗 香川県学童軟式野球新人大会の開催 平成20年より毎年開催しており、平成27年11月に行われた第8回大会では、香川県内8支部の予選を勝ち抜いた32チームが深紅の優勝旗を巡って、熱戦を繰り広げた。 少年野球チームの間では「百十四杯」と呼ばれており、地域に密着した大会となっている。 ②ゲートボール大会の開催 平成2年より毎年5月に開催しており、平成28年5月に行われた第26回大会では、香川県内の予選を勝ち抜いた60チーム約350名が参加された。 本大会を目標に日々練習に励んでいる方が多くおり、毎年大いに盛りあがっている。 ③地域のスポーツイベントに参加 毎年、県内外から多くの選手が参加する「香川丸亀国際ハーフマラソン」や全国的にも珍しい都市型トライアスロン「サンポート高松トライアスロン」などのスポーツイベントに選手として参加するだけでなく、100名以上の行員がボランティアスタッフとして各大会をサポートしている。 

銀行名	百十四銀行										
タイトル	見守り活動の実施										
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ご高齢者等が住みなれた地域で安心して生活することができる環境を整備し、地域福祉の向上に寄与することを目的に各地方公共団体等と見守りに関する協定を締結している。 ・地域の子どもたちの安全を守るため、地元警察や地域の方々と連携し、見守り活動を実施している。 【取組み内容】 <高齢者見守り活動> ・職員が通常業務中に高齢者宅等を訪問した際、高齢者等の日常生活に何らかの異変を察知した場合、速やかに警察等にその状況を連絡する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>協 定 締 結 日</th><th>地 方 公 共 団 体 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 7 年 1 0 月 1 日</td><td>三木町地域で支えあう見守り活動</td></tr> <tr> <td>H 2 8 年 2 月 1 0 日</td><td>かがわ高齢者見守りネットワーク</td></tr> <tr> <td>H 2 8 年 4 月 2 0 日</td><td>坂出市まいまいこ（徘徊）高齢者おかえり支援事業</td></tr> <tr> <td>H 2 8 年 5 月 2 4 日</td><td>玉野市地域の安心・安全見守り活動</td></tr> </tbody> </table> <子どもたち見守り活動> ・「子ども110番」に香川県内の全営業店が加盟。 ・営業店独自に見守り活動を実施。 【庭瀬支店】 地元小学校のPTAの方々と協力し、児童の下校時に見守り活動を実施。 【善通寺支店】 社用車に専用マグネットを貼り、善通寺市内を巡回する見守り活動を実施。 【取組みの効果】 ・これまで特に目立った成果はないが、協定の締結や地元の方々との関わりを通じて、職員の見守り活動に対する意識が高まっている。 ・引き続きだれもが安心して暮らせる地域づくりに貢献していく。	協 定 締 結 日	地 方 公 共 団 体 等	H 2 7 年 1 0 月 1 日	三木町地域で支えあう見守り活動	H 2 8 年 2 月 1 0 日	かがわ高齢者見守りネットワーク	H 2 8 年 4 月 2 0 日	坂出市まいまいこ（徘徊）高齢者おかえり支援事業	H 2 8 年 5 月 2 4 日	玉野市地域の安心・安全見守り活動
協 定 締 結 日	地 方 公 共 団 体 等										
H 2 7 年 1 0 月 1 日	三木町地域で支えあう見守り活動										
H 2 8 年 2 月 1 0 日	かがわ高齢者見守りネットワーク										
H 2 8 年 4 月 2 0 日	坂出市まいまいこ（徘徊）高齢者おかえり支援事業										
H 2 8 年 5 月 2 4 日	玉野市地域の安心・安全見守り活動										

銀行名	百十四銀行
タイトル	「瀬戸内国際芸術祭2016」を積極的に応援
取組み内容	【動機（経緯）】 瀬戸内の島々と二つの港を舞台に、3年に一度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2016」を地域振興の観点から、当行グループを挙げて応援している。 【取組み内容】 ①ボランティアの派遣 会期中に、ボランティアを派遣し、作品案内やチケット販売などを行っている。 ②港の清掃活動 訪れる人々に気持ちよく島々へ渡っていただけるよう、各シーズンが開幕する直前の土曜日に、高松・宇野港で清掃活動を実施している。 【実施時期（実施予定時期）】 春：3月12日、夏：7月16日、秋：10月1日 ③その他の応援内容 全行員が、瀬戸内国際芸術祭のロゴ入り名刺の使用や、缶バッジ着用のほか、芸術祭のTシャツを着用（港周辺の営業店のみ）しPR活動を行っているほか、県内外のすべての営業店ロビーでPR映像を放映している。 【取組みの効果】 県を挙げて取組んでいるイベントであり、当行も地元金融機関として、初回の2010年より応援している。回を重ねるごとに、地元を活性化するためにより積極的に関わろうとする意識が全職員の間で高まってきている。 

銀行名	百十四銀行
タイトル	世界初「天体望遠鏡博物館」開館のお手伝い
取組み内容	【動機（経緯）】 当行の顧問である村山昇作氏が代表を務めている、世界初の「天体望遠鏡博物館」開館の準備作業等を実施。 【取組み内容・効果】 ・本博物館は、人口減少のため廃校となった小学校をそのまま展示施設として利用し、全国から集めた、大小さまざまな大きさの使われなくなった天体望遠鏡が約200台以上展示されている世界初の博物館である。 ・博物館オープンは、行政と市民、ボランティアが一体となって取り組んでいる事業で、青少年の天文活動普及の場として、また、地域活性化のモデルケースとなるよう、地域住民から期待の聲が高まっている。 ・準備作業では、近隣の営業店行員や本部行員のボランティアが、これらの組み立て作業や館内の清掃作業等に協力した。 ・平成28年3月12日に開館を迎えた同館の活動を、今後も様々な角度から支援していく予定。 